

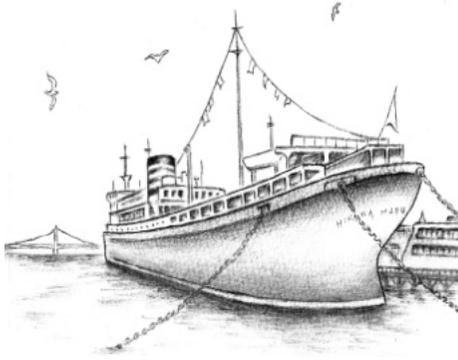
●三位一体後第八主日

泉のほとり

今月の詩編「第三十五編」

わたしの魂は主によって喜び躍り

御救いを喜び樂しみます。



神を愛し、主イエスを愛して

「医者が必要とするのは健康な人ではなく病人である」「わたしが来たのは、正しい人を招くためではなく、罪人を招くためである」。この言葉は、主イエスの福音を凝縮して鋭い槍の穂先にしたような言葉です。わたしたちの常識を打ち破って、光を見せてくれます。主イエスのような人なら、正しい人を集めるだろうと、誰もが考えます。だから言葉では、罪人を招くために来たと聞いていながら、心では、正しい人を招くために来たように考えてしまうのです。でもそれは明らかに間違いです。

創世記第四章に、カインとアベルの兄弟の話が出てきます。一緒に神さまに献げ物をして、自分のものだけ拒否されたカインは、弟を妬んで殺してしまい、エデンの東に追放されます。でもその時神さまは彼にひとつのしるしをつけました。誰でも彼を殺す者には、自分が七倍の復讐をするというしるしです。神さまは罪を犯したカインを、なおもご自分のものとしてくださったのです。その神さまの中に、主イエスの姿が見えています。

主は道ばたに座っていた徴税人マタイに声をかけました。「わたしに従いなさい」。マタイはそれに応えて立ち上がり、主の弟子になります。立ち上がったことは、自分が作り上げた、自分中心の世界を捨てたことです。神さまを押しつけて自分が中心にいる世界です。その世界を捨てて主イエスに従う者になることを、罪から救われるということです。

なぜ主はマタイに声をかけ、彼はすぐに従ったのでしょうか。彼が自分の生き方に疑問を持っていたのだとか、罪に悩んでいたのだというような想像をします。が、聖書は何も書いていません。そういうマタイの側の事情が問題ではないからでしょう。罪に悩んでいてもいなくても、主が、この人には自分が必要だと思えば、声をかけられます。そしてその人がそれに答えれば、彼は主イエスの弟子になるのです。

主イエスに救われたマタイは、主のために自分の家で宴会を開きます。中心にいるのはマタイではなく主イエスです。他の人々はすべてその周りに座ります。それは教会の姿です。中心におられるのは主イエスです。牧師も役員もその周りに座ります。そこに大勢の徴税人や罪人もやってきて、主は彼らを受け入れられました。不平をもらしたフアリサイ派に主は「わたしが来たのは正しい人を招くためではなく、罪人を招くためだ」と宣言されます。

正しい人とは、道徳的倫理的に正しい人です。しかし主は、神との関係における正しさを強調されます。律法をきちんと守るのではなく、神さまを愛し、信頼し、神さまとの愛の交わりの中で生きることです。「わたしが求めるのは憐れみであっていけにえではない」と言われた神さまは、そのような正しさの中でわたしたちが生きること、願っておられるのです。

2024年度

教会全体課題

聖書の御言葉に生きる。

《今日のお知らせ》

- 礼拝の中で幼児祝福式を行います。
- 一三時三〇分からカナルルームで試問会と定例役員会を行います。役員の方はご出席ください。
- 夏季バイブルスクールの予定表を事務所の前とロビー掲示板に貼り出しました。日程をご確認の上、どうぞご参加ください。

《教育奉仕委員会より》

交わりの会のご案内

礼拝後、一二時一五分〜一三時一五分まで地下ホールで黄先生と語る会を行います。

《今後の予定》

- 七月二十八日 転入会式
- 七月三〇〜三一日 夏季バイブルスクール
- 八月五〜六日 夏季バイブルスクール

《ぶどうの会より》

七月はぶどうの会は休会です。

《ジュネーブ教会信仰問答》

第十聖日 後半

使徒信条「陰府にくだり」に関して

問六九しかし、世の救いであるイエス・キリストが、
どうしてこのような責め苦をうけられる、とい
うことがありえましょうか。

答 それはそこにとどまるためではありませんでし
た。たとえ、前に述べましたように恐れをお覚
えになったとしても、決してこれに打ちまかさ
れにはなりませんでした。かえって、よみの力
に対して、これを突き破り、打ち砕くために戦
われたのであります。

問七〇そこからわれわれは、彼が忍ばれた苦しみと、
神が怒りをもつて罰せられる、罪人らのなめる
苦しみとの違いがわかります。彼にとつては、
ただ一時的であったことが、他の者らには永遠
的であり、また彼を刺す一本の針にすぎなかつ
たことが、彼らには死ぬほどの苦しみを与える
剣であるからです。

答 その通りであります。なぜならば、イエス・キ
リストはこのような苦難のただ中でも、なお常
に、神に期待することをおやめになりませんで
した。しかし神が罰せられる罪人らは、絶望し、
神に対してかんしゃくを起こし、遂には神を呪
うにいたるのであります。

外山八郎訳（新教出版社1979年）使用

《コイノニア教育センター》

有志の方々より》

来週七月二十八日にケニアのコイノニアグッズを
販売いたします。色鮮やかなバッグやポーチ、夏
らしいスイーツも少し用意してお待ちしています。
ディアコニアショップの前で、子ども礼拝、主日
礼拝の後、各三〇分ぐらいの予定です。
どうぞお立ち寄りください。

《今日の子ども礼拝》

説教 「5つのパンと2匹のさかな」
聖書 ヨハネ6章1〜15節
説教者 吉村和雄 名誉牧師

《次週の礼拝》

●子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）
説教 「水の上を歩いてでも」
聖書 マタイ14章22〜33節
説教者 吉村和雄 名誉牧師

●主日礼拝（午前10時30分）
讃美歌 11番 365番
説教 「わたしを愛する人は」
聖書 ヨハネ14章15〜31節
説教者 黄允湜 牧師





主日礼拝 (午前10時30分)

讃美歌 87A番 274番
説教 「神を信じなさい」
聖書 ヨハネ14章1節～14節(新約 P.196)
司式 山下 純一 兄
聖餐司式 黄 允湜 牧師
説教者 黄 允湜 牧師

前奏曲「前奏曲とフーガ ト長調」V.リュベック

○讃美歌87A番

- めぐみのひかりは わがゆきなやむ
やみ路を照らせり 神は愛なり
われらも愛せん あいなる神を
- うき雲おおえど み顔の笑みは
さやかに照りいず 神はあいなり
われらも愛せん あいなる神を
- うれしいのときにも のぞみをあたえ
なぐさめたまえり 神はあいなり
われらも愛せん あいなる神を
- ものみなうつれど めぐみのひかり
とわにぞかがやく 神はあいなり
われらも愛せん あいなる神を

アーメン

○讃美歌274番

- 世人こぞりて 主をばなみし
そのみちからを あなどるとも
わが身はひとり 主をたのみて
いのちのかぎり 真実つくさん
- はかり知られぬ 愛のゆえに
いのちをすてし 主を忘れて
空しきものに さそわれゆく
世人のころろ むげにかなし
- まよいの雲は 世をとぎせど
たぐいもあらぬ 主のひかりは
暗きをやぶり 霧をはらい
もとれるものを 主にぞ帰さん
- わが主よ、我をとらえたまえ
主よりはなれし 四方の民の
ふたたび主をば うちあおぎて
なみだとともに 悔ゆる日まで

アーメン

聖餐曲「我ら皆唯一の神を信ず」 J.S.バッハ

後奏曲「父なる神よ、我らと共に住みたまえ」

J.ハッセルベル

※礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。